



東山代小学校便り

※学校ホームページ



※写真等パスワード
higashi07

2026. 1. 9
文責：中尾

◆「人にやさしく、まじめにがんばる子」

◆あなたは、この世に生まれてきた大切な人

昨年4月には、新校舎の完成と共に新たな学校生活が始まりました。

新校舎で新学期が始まったときの子どもたちの嬉しそうな顔と、「校長先生、うれしかあー！」という言葉が忘れられません。

子どもたちは新校舎でいろいろな経験をしながら成長してきました。

「リコーダーが吹けるようになった」「跳び箱を跳べるようになった」など、今までできなかったことができるようになった嬉しい経験もあったと思います。友だちと何かを成し遂げて喜び合った経験もあったでしょう。一方では、友だちとの関係に悩んだこともあったと思います。そんな、子どもたちに「友だちの存在について考えてほしい」という思いから、2学期の終業式で次のような話をしました。

年が明け、3か月も経てば、1年生は2年生になります。6年生は中学校という新しい世界に進むことになります。

2学期を終える今日、一緒に考えてほしいことがあります。

みなさんはマザー・テレサという人を知っていますか。

この方は、貧しさや病気に苦しむ人々を救うことに一生をささげ、ノーベル平和賞を受賞した偉大な方です。

このマザー・テレサが残された言葉にこんな言葉があります。

「あなたは、この世に生まれてきた大切な人」

この言葉の意味を考えてみてください。

あなたのことを大切だと考えてくれる人の顔を思い浮かべてください。

誰の顔が思い浮かびますか？

そして、あなたが、そういう存在であるということは、隣にいる人もあなたと同じように、その人のことを大切に思ってくれる人がたくさんいる、そんな存在なのです。

「みなさんは、一人一人がこの世に生まれてきた大切な人です。」

◆2026 年はあなた次第！

新たな一年が始まりました。

6年生にとっては、あと3か月で卒業、そして中学校への進学です。

5年生にとっては、あと3か月で6年生となり、本校のリーダーとして全校をリードしてもらうこととなります。どのようなリーダーシップを発揮してくれるのかを楽しみにしています。

みなさんは、「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いたことがありますか。「元旦」とは、元日(1月1日)の朝のことです。

私は、このことわざは、てっきり中国由来のものと思っていましたが、500年以上前の戦国時代の武将として有名な毛利元就(もうりもとより)の言葉が由来であるという説を最近知りました。元就が息子の隆元(たかもと)にあてた手紙の中で、次のように伝えていきます。

一年の計は元旦にあり(一年の計画は年の始めに立てなさい)

一月の計は朔(ついたち)にあり(一月の計画は月の最初の日を立てなさい)

一日の計は鶏鳴にあり(鶏鳴とは一番鶏が鳴く早朝のことで、一日の計画は朝早く立てなさい)

これらは、何の目標も計画もなく、何も考えずに一年や一月、一日のスタートをきってはならない！

物事を始める時には、きちんと目標や計画を立てることが大事だということを伝えていきます。

野球界のレジェンドであるイチローさんは、次のような言葉を残しています。

「今自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと遠くの目標は近づいてこない」

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」

みなさんの、今年の目標は何でしょうか？そんなことを考えたこともないという人もいるかもしれません。大丈夫です。まだ間に合います。

「目標をもって、小さなことを積み重ねて、真面目にがんばること」は、みなさんの大切な「夢」や「目標」に近づいていくことになります。

6年生は、あと3か月で卒業です。

5年生は、あと3か月でこの学校の最上級生、リーダーです。どのようなリーダーシップを発揮してくれるのかを楽しみにしています。

3学期はあっという間に過ぎ去ります。

2026年が、いい年になるかどうかは「あなた次第」です。